

2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人フードバンク岩手

1 事業の成果

(1) フードバンク事業、社会参加推進事業

◆実施内容

- ・生活自立支援法に基づく岩手県内の相談機関や役所、社会福祉協議会等 17 ヶ所(食料支援できるが要請がなかった機関は除く)に提供した。その他、相談機関や支援機関 11 団体(学習支援・こども食堂・被災者支援)、福祉施設 4 施設、フードバンク団体 4 団体、計 35 ヶ所へ提供
- ・フードバンク岩手への直接相談は 24 件(来所 5 件、電話 15 件、メール 4 件)、関係機関へおつなぎした
- ・フードドライブは公開型で新たに盛岡市役所 2 ヶ所目となる盛岡国際交流協会内にポストを設置。イベント型では学生主体のもと、岩手銀行の労働組合バレーボール大会(県内の支店から参加)や滝沢市のスーパーなどでフードバンクポストを設置しフードドライブ活動を岩手県内へ広くアピールできた。
- ・盛岡ロータリークラブより 5 年間の継続的な寄付をいただく事となった。
- ・社会参加推進事業については、こども支援プロジェクトの梱包作業等をきっかけに学校以外で個人での参加をする学生が増え将来の担い手を増やす事ができた。一般ボランティアは長期にわたり定期的に参加する人数が増えた。また、フードバンク岩手のボランティアをきっかけに他ボランティア活動参加となった。
- ・一般、学生ボランティア参加人数 述べ 895 人(内学生数 99 人)
- ・寄贈・提供は以下の表のとおり(2018年4月～2019年3月)

	ご寄贈いただきました			提供しました	
	件数	重量 (kg)		件数	重量 (kg)
2018年4月	56	680.43	2018年4月	34	894.77
5月	68	948.48	5月	65	1453.45
6月	72	1007.45	6月	59	877.03
7月	100	1524.53	7月	408	4494.51
8月	107	2144.64	8月	101	1716.35
9月	64	1021.91	9月	56	1001.99
10月	79	1464.99	10月	44	815.84
11月	79	1606.34	11月	67	810.31
12月	151	3607.39	12月	407	4141.02
2019年1月	68	926.02	2019年1月	108	1459.56
2月	59	850.86	2月	61	1346.99
3月	73	1374.48	3月	112	1152.41
合計	976	17145.03	合計	1544	20204.89

※件数は提提供数(世帯数合計は 1552 世帯)

◆成果

- ・食品提供企業の増加、支援団体等への譲渡の増加

◆課題

- ・フードバンク事業では、20 か所(2018年度新規 1 か所)場所でフードバンクポストを設置した事により、色々な食品が集まるようになったが提供量は前年より 3.5 t 程度減少しており必要とされる食品の種類や量を集める工夫が急務である。
- ・寄付金は単発の寄付者・継続的な寄付者は減少、継続的な寄付となるようにインターネットを利用しない方への継続的な寄付につなげる事が重要であり、引き続き新規の寄付者・賛助会員を増やす事が課題。
- ・社会参加推進事業では活動を通じたボランティアマニュアルの作成が必要。

(2) 困窮者支援事業 フードバンク子ども応援プロジェクト

◆実施内容

- ・夏、冬休み中の子どもの健康面や精神面における不安を解消すると同時に悩みごとを抱えながらも、支援が行き届いていない小中学生のいる世帯が抱えている課題や悩みを早期発見し、ケースによってはアウトリーチも行い相談機関等々の社会福祉資源に早期につなぎ、生活が困窮しきる前に解決を図り重篤化を防ぐことを目的とし事業を行った。
- ・緊急フードドライブなどで集まった食料品の検品や梱包作業には、市民ボランティアや学生ボランティア参加で行った。若者が将来の担い手として、子どもの貧困問題や身近な地域課題の理解を深める大切である。したがって作業前にこどもの貧困についての説明会を行った。

◆成果

- ・多くの世帯へ社会福祉資源の案内チラシを食品と共に同封し相談先を知ってもらい、早期の相談につながった。また、行政担当課や社会福祉協議会以外にも多機関との協働や連係を行うことができた。

◆課題

- ・回を増すごとに各市町の申込世帯数は増えており、支援機関につながるケースも増加してきたが、短期間に食品を集める方法やルートの確保が必要。

(3) 被災3県のフードバンクネットワークの構築事業(宮城、福島、岩手)

◆実施内容

- ・被災3県を中心とした東北のフードバンク団体のネットワーク構築。
- ・マニュアルや発注票などの書類も共通フォーマットの使用。
- ・新設フードバンク団体の立ち上げ支援。

◆成果

- ・福島県3団体、宮城1団体のフードバンク団体が活動を開始した。
- ・ネットワークとしても各団体間の食品の受渡しやノウハウの共有が活発になってきた。

◆課題

- ・各団体の基盤が整っていない為、企業や市民とのつながりが弱く自力で必要量の食品を集められる状態ではなく、支援機関の要請に対応できない。また食品がある場合でも食品の輸送にかかるコストの捻出が喫緊の課題である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
フードバンク事業	市民や生産者に食品の提供をお願いし、また賞味期限内でまだ食べられるのに印字ミスや箱の破損などで販売できない食品を企業に募集。いただいた食料を生活困窮者や児童・障がい者施設、生活困窮者自立支援相談事業所などに無償で提供する事業 東北のフードバンクネットワークを構築する事業	常時	盛岡市など	4名	約1000世帯	5160
困窮者支援事業	夏、冬休み中の子どもの健康面や精神面における不安を解消すると同時に悩みごとを抱えながらも、支援が行き届いていない小中学生のいる世帯が抱えている課題や悩みを早期発見し、ケースによってはアウトリーチも行い相談機関等々の社会福祉資源に早期につなぎ	夏休み 冬休み	盛岡市など	4名	子どもを擁する世帯	8000
就労継続、就労移行支援事業	実施なし					0
社会参加推進事業	寄付された食品の仕分けや、フードドライブなどをきっかけに困窮者支援に市民の参加を促進する事業	1日から常時	当事務所	895名		744
その他の付帯する事業	実施なし					0

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
実施なし					